

特別会計決算の状況

- 決算規模** 特別会計全体の決算規模は、歳入、歳出ともに前年度決算額を下回りました。
- 歳入** 歳入総額の合計は、75億1,659万4千円で、高齢者医療・介護関係の後期高齢者医療事業、介護保険事業、水道・下水道関係の簡易水道事業、集落排水事業などの歳入総額の増加の一方で、医療・老人福祉関係の国民健康保険事業、老人保健事業、下水道関係の公共下水道事業などの歳入総額の減少により、前年度を22億8,908万2千円下回り、23.3%の減となりました。
- 歳出** 歳出総額の合計は、73億2,783万2千円で、歳入と同じ事由により、前年度を23億2,251万6千円下回り、24.1%の減となりました。
- 決算収支** 歳入歳出差引額の合計は、1億8,876万2千円となり、実質収支の合計についても、1億8,876万2千円の黒字となりました。

(単位：千円)

会計名	会計の内容	歳入総額 ①	歳出総額 ②	歳入歳出差引額 ①-②=③	繰越財源 ④	実質収支 ③-④=⑤
国民健康保険事業	国民健康保険に加入している人の医療費の給付などを経理する会計	2,016,174	1,894,496	121,678	0	121,678
老人保健事業	老人保健に加入している人の療養費や高額療養費の給付などを経理する会計	239,312	231,963	7,349	0	7,349
介護保険事業	居宅介護・施設介護・居宅支援サービスの給付などを経理する会計	1,916,645	1,880,514	36,131	0	36,131
介護サービス事業	訪問介護・居宅介護支援・通所介護サービスの提供などを経理する会計	6,604	5,167	1,437	0	1,437
後期高齢者医療事業	後期高齢者医療制度に加入している方の保険料徴収などを経理する会計	217,896	217,340	556	0	556
簡易水道事業	簡易水道施設の維持管理や建設などを経理する会計	1,046,004	1,040,917	5,087	0	5,087
公共下水道事業	下水道施設の維持管理や建設などを経理する会計	1,307,303	1,302,787	4,516	0	4,516
集落排水事業	農業集落排水施設・漁業集落排水施設の維持管理や建設などを経理する会計	675,221	667,528	7,693	0	7,693
温泉事業	越前地区の温泉給湯施設の維持管理や建設などを経理する会計	66,051	61,736	4,315	0	4,315
農林漁業体験実習館事業	宮崎地区の「若竹荘」の管理運営を経理する会計	25,384	25,384	0	0	0
合計		7,516,594	7,327,832	188,762	0	188,762

企業会計決算の状況

- 決算規模** 収益的収支と資本的収支の支出決算額の合計は、16億9,110万9千円で、上水道事業の支出決算額の増加の一方で、国民宿舎事業、国民健康保険病院事業の支出決算額の減少により、前年度を6,369万9千円下回り、3.6%の減となりました。

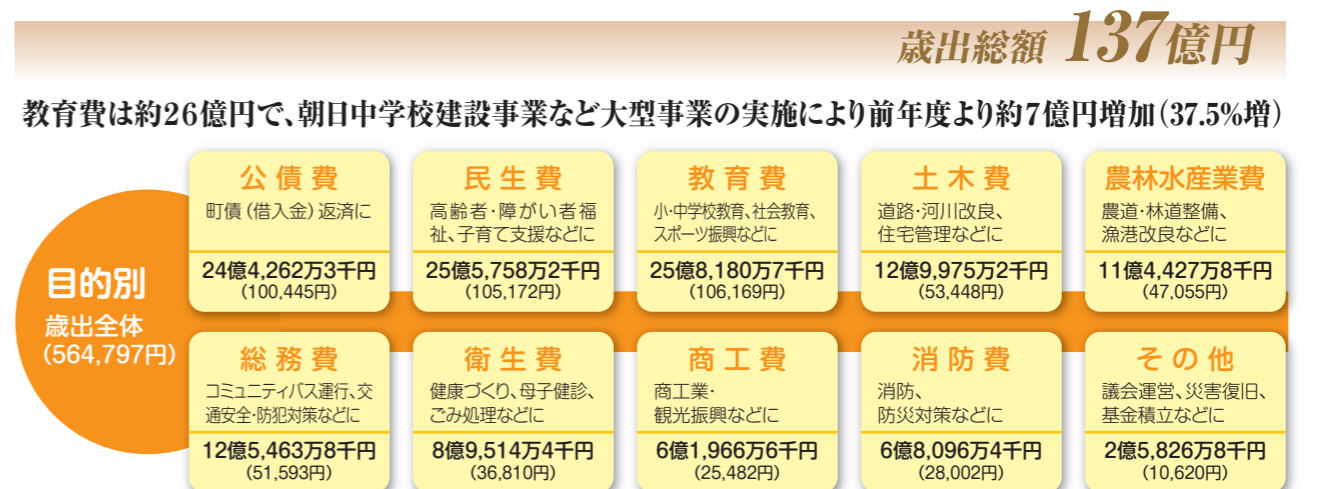
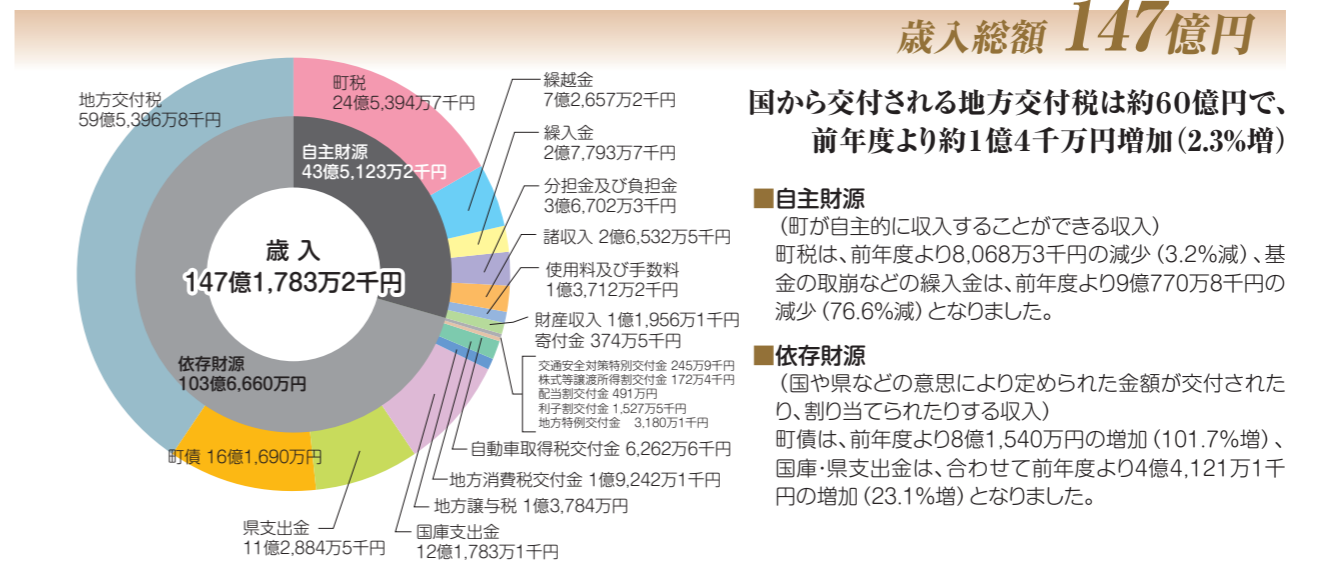
(単位：千円)

会計名	会計の内容	区分	収入決算額 ①	支出決算額 ②	収支額 ①-②=③	備考
上水道事業	上水道施設の維持管理や建設などを経理する会計	収益的収支	240,738	240,509	229	
		資本的収支	110,516	196,466	▲85,950	不足額は損益勘定留保資金で補てん
国民宿舎事業	「かれい崎荘」の管理運営を経理する会計	収益的収支	96,159	111,936	▲15,777	
		資本的収支	0	13,527	▲13,527	不足額は損益勘定留保資金で補てん
国民健康保険病院事業	「織田病院」の管理運営を経理する会計	収益的収支	1,099,731	1,034,772	64,959	
		資本的収支	36,100	93,899	▲77,799	不足額は損益勘定留保資金で補てん

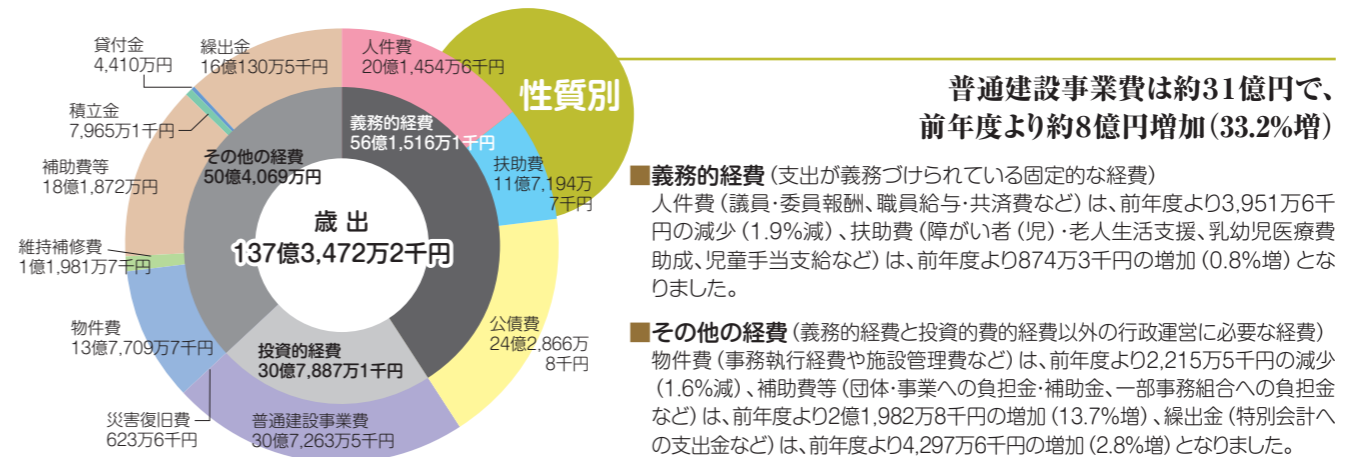
※国民健康保険病院事業の収入決算額には翌年度繰越額20,000千円を含む。

一般会計決算の状況

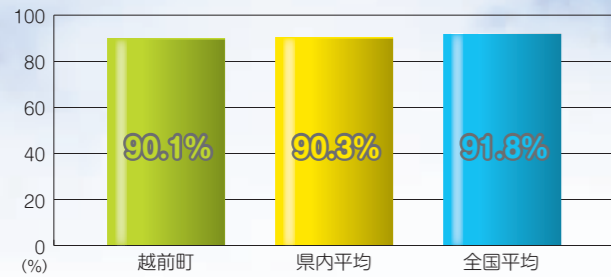
- 決算規模** 決算規模は、歳入、歳出ともに前年度決算額を上回りました。
- 歳入** 歳入総額は、147億1,783万1千円で、景気低迷による町税の減少の一方で、地方交付税や国庫支出金、町債などの増加により、前年度を4億4,523万5千円上回り、3.1%の増となりました。
- 歳出** 歳出総額は、137億3,472万2千円で、行財政改革による人件費や公債費の減少の一方で、普通建設事業費などの増加により、前年度を1億8,869万8千円上回り、1.4%の増となりました。
- 決算収支** 歳入歳出差引額は、9億8,310万9千円となり、翌年度に繰り越して実施する事業に充てる財源3億1,675万円を差し引いた実質収支は、6億6,635万9千円の黒字となりました。 ※千円未満の端数整理は切り捨てにより作成。



※()内は、平成21年4月1日現在の越前町の人口24,318人で割った町民1人当たりの金額です。



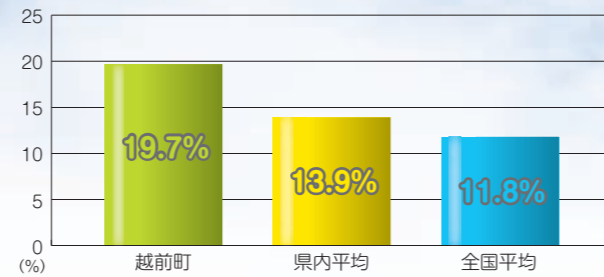
経常収支比率 90.1%



● 経常収支比率が90.1%とは、どういうことですか？

家計に例えて簡単にいうと、その年に給料などの自由に使える経常的な収入が1千万円だったとすれば、食費、光熱水費、家賃、借入金返済などの毎年経常にかかる経費に、約901万円を使ったということになります。

実質公債費比率 19.7%



● 実質公債費比率が19.7%とは、どういうことですか？

家計に例えて簡単にいうと、その年を含めた前3年の平均で、給料などの自由に使える経常的な収入の約5分の1を家族全員の借入金返済にかかる経費に使ったということになります。

平成20年度に実施した主な事業

快適で安全に住めるまちづくり

● より安全な道路への改良

- 町道改良事業… 乙坂気比庄線、宝泉寺グラウンド線の歩道設置、窪田線の消雪設備工事、その他町道の舗装・側溝改良・消雪設備修繕など 2億8,230万5千円
- 国県道改良事業… 県施工による国道305号・365号、主要地方道福井大森河野線・越前宮崎線・福井四ヶ浦線・武生米ノ線、県道別所朝日線などの道路改良に対する負担金 4,997万7千円

● 災害救急対応の強化

- 鯖江・丹生消防組合丹生分署建設事業… 下河原地係に鯖江・丹生消防組合丹生分署を建設 2億6,711万9千円



● 安全で良質な水の供給

- 朝日地区簡易水道統合整備事業… 下糸生送水ポンプ場、萩野配水池の設置、真木・天谷地係の配水管布設、萩野地係の配水・送水管布設などによる上水道区域、簡易水道区域、水道未普及地域の統合 3億5,356万8千円
- 織田地区統合簡易水道事業… 惣分谷浄水場・山中浄水場の整備、笠松浄水場ろ過池改良工事など 1億93万1千円

● 美しい水と環境を守る

- 越前地区集落排水事業… 左右・梨子ヶ平地区での農業集落排水事業と高佐・白浜・茂原地区での漁村再生交付金事業による下水道管路の布設など 1億1,684万7千円

● 公共交通の確保と利用促進

- 地域公共交通活性化事業… コミュニティバス「フレンドリー号」の運行、路線バス利用の高齢者と高校生への運賃補助、路線バスの維持支援補助など 9,752万9千円

● 地域間情報格差の解消

- 携帯電話施設整備事業… 天谷・小川川・大畑地区において携帯電話用施設を整備 3,644万4千円

健康で安心して暮らせるまちづくり

● 出産と子育ての応援

- 乳幼児医療費無料化対策事業… 小学校就学前までのすべての乳幼児の医療費の一部助成 3,248万9千円

人が輝き交流で満ちあふれるまちづくり

● 男女共同参画社会の推進

- 男女共同参画推進事業… 町内の小中学校や地区などを対象とした「気づき事業」の実施、男女共同参画まちづくり推進員会や男女共同参画ネットワーク活動の充実、「えちぜん男女共同参画のつどい」の開催など 297万3千円

● 学校施設の整備

- 朝日中学校建設事業… 旧朝日中学校と旧糸生中学校を統合した朝日中学校の校舎・屋内運動場・外構の工事など 15億7,411万8千円



● 国際交流の推進

- 国際交流事業… 国際交流員を配置し、在住外国人との文化交流を推進、国際交流協会による国際交流フェスティバルの開催、国内外の交流都市との児童交流・交換留学の実施など 1,243万1千円

元気で活力みなぎるまちづくり

● 農道や用排水路などの整備

- 県営農業農村整備事業… 県営の中山間地域総合整備事業(福井越前地区)による農道・用排水路・集落排水路などの整備に対する負担金 2,265万円
- 農山漁村活性化支援事業… 町花(県花)である越前水仙の生産確保をはかるため、左右地区において、農道を整備 2,071万9千円

● 漁港の整備

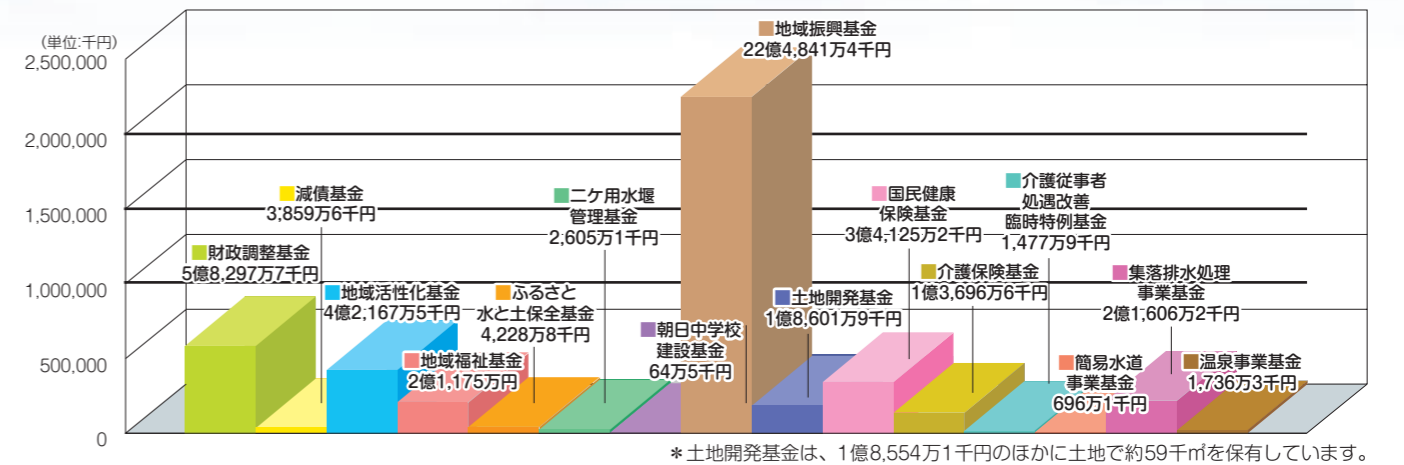
- 漁村再生交付金事業… 玉川・米の浦漁港の船揚場・防波堤の改良など 3億6,000万円

基金の状況

家計でいうと預貯金にあたる基金全体の平成20年度末現在高は、44億9,179万9千円で、財政調整基金^{※1}や越前地区地域活性化基金などの取崩により、前年度と比べ2億57万1千円の減少となりました。

※1 財政調整基金 … 一般会計で、年度間の財源の不均衡を調整し、財源が不足する場合にこれをうめるための財源などに充てる基金

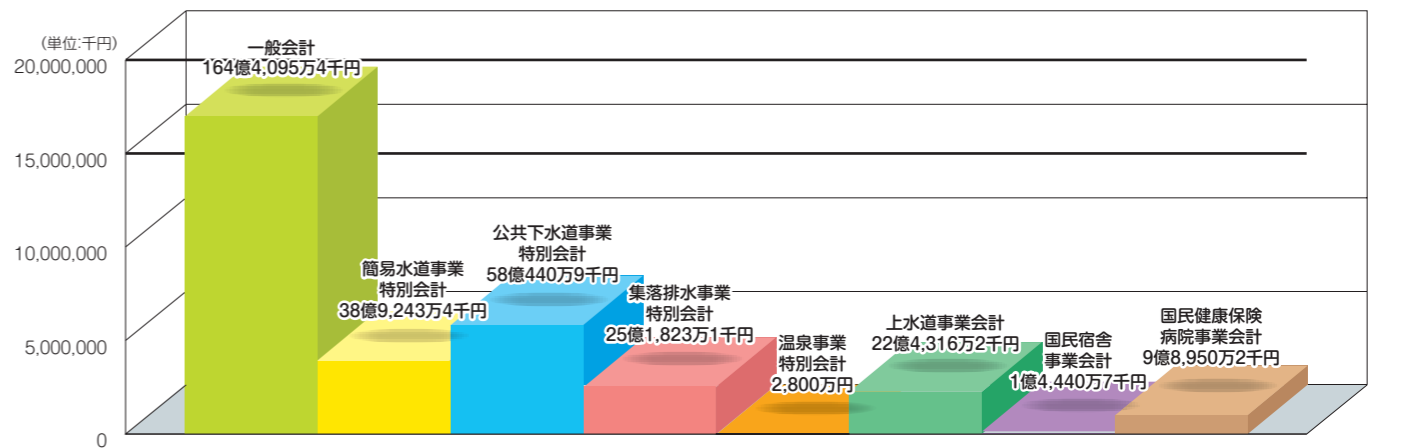
基金全体の平成20年度末現在高 45億円



町債の状況

家計でいうと借入金にあたる町債全体の平成20年度末現在高は、320億6,074万1千円で、一般会計での繰上償還などにより、前年度と比べ10億3,808万3千円の減少となりました。

町債全体の平成20年度末現在高 321億円



財政指標

財政構造の弾力性

経常収支比率^{※3}は、前年度の89.4%より0.7ポイント上昇しました。

実質的な公債費負担の健全度

実質公債費比率^{※4}は、前年度の22.5%より2.8ポイント改善しました。

※3 経常収支比率 … 地方税や普通交付税のように使途が特定されておらず、毎年度経常的に収入される財源のうち、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費に充当されたものが占める割合。この数値が高いということは、経常的に支出される経費に使える財源が少ないということであり、財政の硬直化を表す。

※4 実質公債費比率 … 地方税や普通交付税のように使途が特定されておらず、毎年度経常的に収入される財源のうち、「公債費」や「上下水道・病院の公営企業債に対する繰上金」などの公債費に準ずるものを含めた実質的な公債費相当額に充当されたもの占める割合のその年度を含めた前3年度の平均値。18%以上の地方公共団体は、地方債の発行に際し許可が必要となる。